

躍進を続ける企業の
原動力をクローズアップ

元気
会社
を訪ねて

山形県
ベア・ロジコ株式会社

長年にわたる食品輸送の実績を基盤に 事業の多角化、人材の育成を進めてさらなる飛躍

ベア・ロジコ株式会社

住所：山形県天童市大字芳賀字楯ノ城457-1

TEL：023-655-2126

代表者：本田孝之

設立：1954(昭和29)年11月

従業員数：170名

保有台数：130台

<http://www.bearlogico.co.jp>

ベア・ロジコ株式会社の食品輸送は、戦後間もない頃から始まった。現在はその長い歴史に甘んじることなく、積極的に他の物流関連事業に参入。扱う業務の幅を広げることで、時代や顧客のニーズに的確に対応している。

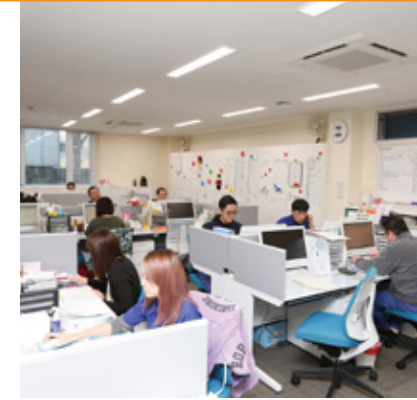
一方で会社の成長には人材育成が不可欠と、理想の職場環境を追求。スタッフが働きやすい社屋をつくり上げるとともに、大規模な物流センターの建設に着手するなど総合物流企業の名にふさわしい展開を図っている。



働きやすさを大切にした新社屋の前に並ぶ、ベア・ロジコの日野プロフィア。



「高校卒業者には、中型・大型免許の取得を全面的に支援しています」と人材育成に力を入れる、熊澤貞二代表取締役会長。



女性目線で考えられた明るく、開放感あふれるオフィス。



50名収容可能な大会議室を使い、安全講習会など数々の教育を行って安全運行を徹底。



レンタルパレット事業をはじめ、新しい分野にも積極的にチャレンジ。



車両をつねに清潔に保つため、屋根付きの大型洗車場が活躍。



みちのくの美しい景観のなかを走る、新型日野プロフィア。

米の輸送からスタートして 物流の道へ

将棋の駒の生産で知られる山形県天童市に本社を構える、ベア・ロジコ株式会社。会社設立のきっかけとなったのは、終戦直後の食糧難の頃に地元運送会社のトラックをチャーターして、特産品である米を首都圏に運んだことだった。その後、輸送を終えた荷台にボルトなどの金属部品を積んで戻るように。こうした活動を続けていくうちに、運送会社の経営譲渡の話が持ち上がり、本格的に物流事業の道を歩み始めることになった。

その後、事業は次第に発展し、米に加えてリンゴや牛、豚などの輸送も開始。さらに地元で食肉加工が行えるようになると、いち早く冷凍・冷蔵車を導入して加工品の輸送に乗り出していった。

1994年、設立40周年を迎えたのを機に社名を改称するとともに、^{かみのやま}上市市に低温貯蔵庫を開設した。また、引越しやトランクルーム、レンタルパレットなどの新規事業にも進出。「時代や顧客のニーズをつかみ、業務メニューを増やすことは会社の強みにつながります」と熊澤貞二代表取締役会長は、経営の多角化に意欲をみせる。

人材を重視し 快適な職場づくりに注力

同社は山形および宮城、名古屋に拠点を置き、東北はもとより関東を中心に中京、関西方面に輸送エリアを展開。安全運行を推進する上で重視しているのが、社内コンプライアンスの徹底だ。一昨年には、本社社屋を新築。この新社屋は50名収容の大会議室を完備しており、ここで安全講習会や勉強会などを開いて

法令遵守の意識を高めている。また、快適な職場環境づくりにも注力。女性スタッフの意見を取り入れ、働きやすいオフィスをつくり上げた。さらに、季節や天候に左右されずに車両が洗える屋根付きの大型洗車場を設けるなど、随所に人材への配慮が息づいている。

「明るく、清潔な職場は会社のイメージアップになり、人材確保の面でも重要です」と熊澤会長。新型日野プロフィアに関しては、ドライバーから“長距離運転の際に運転疲労度が大幅に軽減された”との評価をいただいた。

天童インター産業団地内に来年完成予定の物流センターは、冷凍・冷蔵倉庫としては県内最大級の規模を誇る。総合物流企業の名をより確かなものとするための、“次の一手”となるだろう。